

南渡祭行事が行われ、参列者に温泉の恵みとなる発展を願った。同神社神興（み会長）の宮みこしの渡御もあり、地域は（熱海新聞 土屋春菜）

泉をおけに移すと、供えた。

小倉会長は「温泉が宮司がおけから瓶に注いだ。参列者はあるから熱海にお客さ宮司の先導で瓶子まが来るし、住んでい神社に運び、神前にるわれわれも誇りの一



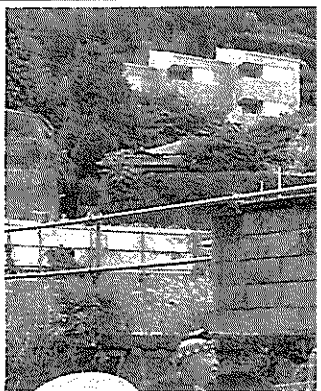
くんだ湯をおけに入れる参列者
＝熱海市上宿町の大湯間欠泉

威勢良く練り歩き

宮みこし渡御

法被に鉢巻き 担ぎ手100人

域を練り歩き、祭りを盛り上げた。
神事後、みこしは同神社を出発。市役所や浜町通り、銀座通りなどを回って、神社に戻った。法被に鉢巻き姿の担ぎ手たちは、額から滴る汗を手拭いで拭いながら、代わる代わる元気よく担いだ。沿道では多くの住民や観光客が足を止めて、勇ましい姿に見入った。
出発の前に安齋会長は「大気も大丈夫そう。」



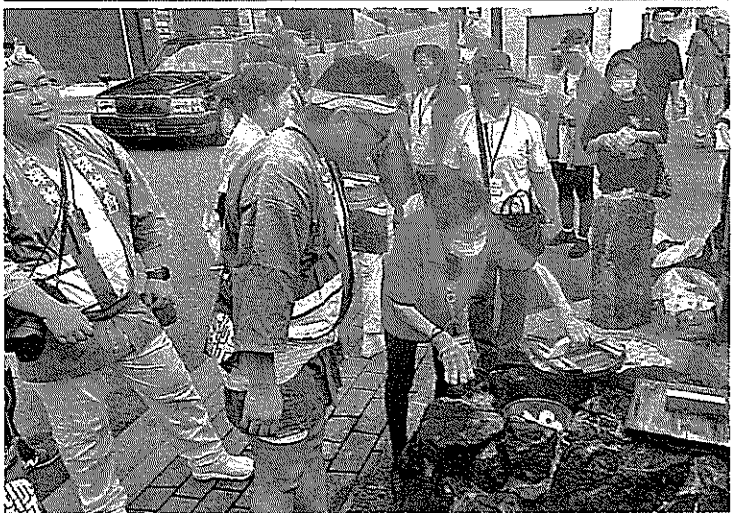
今日は皆さんの肩をおけた。東京借りします」と呼びか（深川）、

小沢の湯で

ガイドが観光客に

熱海市の実行委員会（会長）は、秋季例大祭5日、銀座湯の「わの湯」を開いた。客らが温泉ち歩きガイド巡りを楽し

参加者は温泉卵作りの参加者、銀座町の小



遅れ2037年度

応募期間延長

ず、抽出が出そろった間を延ばしても応募は段階で次に進めば良いだろう」などの意見「条件を変えずに期見が続出したため、公

募の延長はせずに、抽出のみ来年3月31日まで行うこととした。

そのほか、広域一般廃棄物処理施設建設候補地選定委員会がまとめた建設候補地の評価項目・評価基準案を正式決定した。10日に5市町のホームページで一斉に公表する。

「相続は『備え』大事」

県、市が空き家対策 最前線聞く



セミナーで「早めの終活開始が重要」と訴える田島さん＝熱海市中央町のいきいきプラザ

県と熱海市は4日、中央町のいきいきプラザで専門家を招いた「我（わ）が家の終活セミナー」を開いた。空き家問題や相続に詳しい田島友子さんが「今から我が家の『終活』について考えよう！」をテーマに、過去

20年の現場経験で得た具体例を交えながら、空き家対策の最前線を紹介した。
田島さんは空き家になったら「（誰かが）住む」「売る」「貸す」「管理する」の四つしかないとした上で「まずは元気なうちに実家の相続を家族で話し合うことが大切」と強調。「ポイント」は親の方から子どもに話題を振ること。そうでないと重要だけど相談づらい

話が一切、始まらない」と呼びかけた。
2024年に家庭裁判所に持ち込まれた遺産分割争いは1万5千件超といい、田島さんは「相続で一番大事なのは口頭から『備えること』。財産争いが全国で増えている中、自分には関係ないと思わず、思い切った普段から家族の間で話し合ってほしい」と語った。

伊豆の天気

旧8月16日
日出 5:43
日没 17:20

あす